

JCAニュース No. 75

昭和47年7月1日 発行 財団法人 日本サイクリング協会 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内 TEL. 583-5628

各県で多彩な活動展開

ラリー、講習会、教室等実施

4月から6月までに各県で実施されたサイクリングの普及行事は下記のとおりであるがラリー、リーダー講習会、サイクリング教室が特に盛んに行なわれており、各県で今後も昨年以上に活潑な活動を展開するものと期待される。(7月の計画分もふくむ)

○リーダー講習会

協会名	とき	ところ	参加者
北海道	6月23~25日	深川	50
"	6月10~10日	札幌	30
"	6月24~25日	士別	45
茨城	4月22~23日	大洗	35
埼玉	6月25日	大宮	40
千葉	4月22~23日	千葉	60
新潟	7月15~16日	巻町	50
富山	6月24~25日	富山	50
和歌山	5月27~28日	和歌山	40
香川	6月11日	善通寺	30
福岡	5月24日	福岡	37
"	6月4~11日	北九州	60

○サイクリングラリー

北海道	6月18日	支笏湖	300
"	6月11日	音更	400
"	6月4日	釧路	300
福島	7月9日	平	300
千葉	5月27~28日	三宅島	600
神奈川	5月21日	大船	350
新潟	6月3~4日	柏崎	200
岡山	4月16日	岡山	200

"	5月14日	備前	150
鳥取	7月22~23日	鳥取	200
福岡	4月16日	5地区	770
佐賀	5月5日	佐賀	300
熊本	7月23日	熊本	300
◎沖縄	3月18日	本島南部	150

○サイクリング教室

北海道	7月2日	札幌	50
"	7月9日	"	100
山形	6月2日	鶴岡	45
宮城	7月18日	仙台	50
埼玉	6月18日	大宮	100
新潟	5月3~5日	柏崎	40
石川	6月4日	加賀	50
香川	6月18日	観音寺	80
徳島	6月18日	徳島	53
長崎	5月23日	諫早	56

○教育関係者講習会

北海道	7月3日	札幌	60
"	6月28日	旭川	60
山形	5/31~6/1	遊佐	50
栃木	7月5~8日	那須	50
新潟	6月15~16日	黒川	40

○モデルコース調査

栃木県	15コース
埼玉	17 "
富山	15 "
福岡	16 "

“自然を大切にしよう” 近く自然保護憲章公布へ

自然の環境を守り、緑と光と水にめぐまれた豊かな国土をつくろうと140以上の関係団体が集って、自然保護憲章制定促進協議会を結成、強力な運動を展開中であるが、このほど東京で行なわれた総会において別項の如き憲章案が満場一致で採択された結果、近く環境庁を通じて一日も早く憲章を公布するよう政府に働きかけることになった。

JCAもこの運動に協力しており、自然を大切にすることはサイクリストにとって大事なマナーであることを忘れずに、この憲章にもられている精神を生かし行動してもらいたい。

自然保護憲章案

自然は、人間をはじめとして生きとし生けるものの母胎であり、微妙な法則のもとに調和を保っている。

人間は、日光、大気、水、大地、動植物などとともに自然を構成し、自然から限りない恵みを受けている。

自然は、ひとたび破壊されると、復元には長い年月がかかり、あるいは全く復元できない場合もある。

したがって、われわれは、自然のしくみの微妙さを正しく理解して、自然の調和をそこなうことなく、自然をたいせつにし、賢明に利用することが必要である。

しかるに、われわれは、自然の恵みになれ、そのとうとさを忘れ、自然は無尽蔵であるとの錯覚から、文明の向上に名をかり、自然を浪費し、自然の調和をそこなってきた。

この傾向は近年特に著しく、自然界における生物生存の諸条件はいたるところで均衡を破られてきた。太陽の光熱はさえぎられ、大気と大地は汚染され、山や丘はくずされ、森や林は伐り払われて緑は失われ、河川、湖沼はもとより、内海から外洋にいたるまで水

は汚染し、海岸、干潟は埋め立てられて、鳥獣虫魚も衰滅のみちをたどり、人間生活の自然環境は急速に悪化するにいたった。

この状態がすみやかに改善されなければ、人類の未来に重大な危機を招くおそれがある。今こそこのことを深く考え、自然の貴重さ、自然界の厳粛さに目ざめ、自然を征服する、自然は人間に従属するなどの思いあがり捨て、自然の保護とその賢明な利用に努め、人間の生活環境の保全に総力を結集すべきである。

よって、われわれは、ここに自然保護憲章を定める。

○自然を尊び、自然に親しみ、自然の恵みに感謝しよう。

○自然のしくみを理解して、自然の調和をそこなわないようにしよう。

○祖先から受けついだ自然を、長く後世に伝えよう。

1. 自然を保護し、生活環境を保全することは国、公共団体、法人、個人を問わず、最も重要な務めである。
2. すぐれた自然景観や学術的価値の高い自然は、全人類に対する務めとして、適切な管理のもとに保護されるべきである。
3. 開発は、いかなる理由による場合でも、自然の保護と生活環境の保全に優先するものではない。
4. 自然保護についての教育は幼児時代から始め、自然の理解と愛情と、モラルの育成に務めるべきである。
5. 自然を損傷破壊したものは、すべてすみやかに復元に務める義務を負う。
6. 国土の全域にわたって、豊かな緑を造成し、真に生きがいのある生活環境を確保すべきである。
7. 各種の廃棄物の排出、薬物の使用などによって、自然を破壊することは許されないことである。
8. 野外にごみを捨て、自然物を採取、損傷し、騒音を出すなどは、厳に慎むべきことである。

サイクリング専用コースや 自転車天国ぞくぞく誕生

最近全国各地においてサイクリング専用コースや自転車専用道路あるいは自転車天国などがぞくぞくと建設されているが、このうち47年6月現在で完成している主なるコースは下記のとおりである。

サイクリングコース（ロードともいう）は主として河川敷（土手）を利用してつくられたものが多く、自転車天国は公園内に設置されたものが多い。

下記の表では一応、距離の比較的長いものをサイクリング専用コース、1～2キロ位の短い距離のものを自転車天国とわけてあるが、どちらともいえないものもあり、厳密には区別しえない。一般道路の通行区分による自転車専用道路は除外した。

（自転車道路協会の資料から）

《サイクリング専用コース》

県名	名 称	距離キロ
北海道	支笏湖サイクリングコース	32
	旭川 " ロード	20
	十藤丘 " "	11
福 島	阿武隈川 " "	20
茨 城	利根、渡良瀬 " コース	28
"	恋瀬川 " "	17
"	久竈川 " "	18
群 馬	桃木川 " "	5
栃 木	日光街道土手並木 " "	10
埼 玉	武蔵サイクリング コース	7
"	利根 " "	17
千 葉	柏市 " "	13
"	流山市 " "	10
東 京	世田谷区 " "	5
"	荒川堤防 " "	8
神奈川	金目川 " "	14
"	酒匂川 " "	9
"	多摩川 " "	20

"	鶴見川 " "	20
"	湘南海岸 " "	9
山 梨	甲府 " ロード	11
"	笛吹川 " "	28
長 野	千曲川 " コース	20
静 岡	伊豆サイクルスポーツセンター	8
"	沼津市防潮堤 コース	17
愛 知	天白河川敷 " "	8
"	青少年センター内 " "	5
"	猿投自転車道路	21
岐 阜	長泉川堤防 " "	5
三 重	大宮町サイクリングセンター	53
富 山	井田川サイクリングコース	6
大 阪	鶴見自然公園 サイクリングコース	30
"	府民の森 " "	55
岡 山	倉敷川堤防 " "	4
徳 島	吉野川 " "	4
福 岡	久留米川 " "	7
"	遠賀川 " "	13
"	北九州市 " "	5

《自転車天国》

栃 木	逆川堤防サイクリングコース	1
千 葉	こどもの国 " "	1
東 京	神宮外苑 " "	2
"	代々木森林公園 " "	2
"	駒沢公園 " "	2
"	北の丸公園 " "	1
"	隈田 " "	1
"	善福寺川 " "	1
"	砧緑地 " "	3
"	小金井公園 " "	2
神奈川	本牧 " "	2
"	多摩川河川敷 " "	1
滋 賀	大津市びわ湖岸自転車道路	2
京 都	鴨川堤サイクリング道路	1
大 阪	中之道公園サイクリングコース	1
広 島	大田川河川駅 " "	3
山 口	楳野川 " "	1
長 崎	諫早サイクリングセンター	2

本年度ブロックラリー

7～10月に6地区で開催

本年度のブロックラリーは7月から10月にかけて次の通り開催されるが、目下主管に当る各協会は円滑な運営を期して準備に忙殺されている。

北海道ラリー	7月29～30日	旭川
東北	8月19～20日	宮城
関東甲信越	9月15～16日	茨城
中部日本	8月26～27日	福井
西日本	10月8～9日	島根
九州	7月29～30日	鹿児島

○北海道ラリー

第1日(29日)

開会式	12.00～12.30	旭川市常磐公園
パレード	12.30～13.15	旭川市中
実走	13.15～17.30	旭川④ロード
交歓会	19.00～21.30	日章小学校

第2日(30日)

サイクリング	8.00～15.30	旭山動物園—男山自然公園—常磐公園(43K)
閉会式	15.30～16.00	常磐公園
参加者	500名	

○関東甲信越ラリー

第1日(9月15日)

集合	水戸市茨城県民文化センター前
開会式	8時30分
実走	9時30分出発
コース	文化センター—大洗(昼食)—那珂湊—原研前—久慈大橋(専用コース、フリーラン)、太田中(バス)—大心苑(泊)

第2日(9月16日)

宿舍出発(バス)	西山荘見学—中里小学校(昼食)—本山峠—大雄院—神峯神社
閉会式	15時30分 神峯神社 16時解散
参加者	300名
参加料	2,600円(宿泊料、食料、バス等)

沖縄で復帰記念ラリー

五所川原サイクリング少年団

青森県の五所川原サイクリング少年団(团长成田不二雄氏)一行15名は、沖縄の本土復帰を祝し記念ラリーを下記のとおり実施した。

6月21日	五所川原出発—東京泊
22日	東京発(空路)—沖縄(那覇) 沖縄サイクリング協会と交歓会
23日	南部戦跡めぐりサイクリング— —嘉手納—万座毛—名護
24日	名護—コザ(海岸線)—那覇 コザ市スポーツ少年団と交歓
25日	午前中自由行動 空路帰京
26日	五所川原着

沖縄協会でも初めての本土サイクリング少年団の訪問とあって各地で歓迎行事を開催、両県サイクリストの友情を深めた。

<新刊紹介>

○サイクル・スポーツの手びき

サイクリングの新しい分野として、いろいろなサイクル・スポーツを普及して行くためにつくられたもので、協会やクラブで実施するのに適している。

(A5版 40頁)

(内容)

1. サイクル・スポーツの位置づけと分野
2. サイクル・スポーツと
オリエンテーリング
3. サイクル・スポーツの計画と運営
 - ①スタンダード・ライド
 - ②パズル・ラン
 - ③フリー・ホイーリング
 - ④マップ・リーディング
 - ⑤スピード・ジャッジング
 - ⑥ヒル・クライミング
 - ⑦リライアビリティ・ライド
 - ⑧ツーリスト・トライアルズ

(日本自転車振興会補助資料)